

成果と課題

- 「一生懸命がカッコイイ」を合言葉に、素直でひたむきな姿で示すことが伝統・校風
- 超勤80時間越えの顕著な減少⇒更に+α
 - ・最終下校時刻引上げ、前期通知表所見無し
- ▲不登校・CR登校等、支援を要する生徒 (R3:15→R4:14→R5:22)
 - 1年:不2・CR0 2年:不5・CR2 3年:不5・CR3
- ▲従順、アウトプツカのUP、自ら考えを伝える力が弱い
- R5全国学調より4項目の「当てはまる」のみ(県比較)
 - 自分に良いところある 43.7%(+4.5)
 - 将来の夢・目標をもっている50.6%(+10.8)
 - 学校が楽しい 48.3%(+3.6)
 - 人の役に立つ人間に 89.7%(+16.4)
 - 家庭学習1時間以上 83.9%(+12.7)
 - ▲違う意見について考えるのは楽しい 27.6%(-5.1)
 - ▲数学好き 19.5%(-11.8) ▲よくわかる(-11.9)
 - ▲国語よくわかる 26.4%(-3.6) ▲英・数の定着度

学校の教育目標

**豊かな人間性
たくましい実践力**
◇きびしく ◇あたたかく ◇ねばり強く

「夢・目標」を育む学校

**なりたい自分を描き、
チャレンジする**

- 将来への夢に繋げる
キャリア教育(ドリームプラン)
- ・三者懇でのプレゼン・職業講話
 - ・職場体験・学習旅行・卒業のその先
 - ・3年生が語る会～送別会～

《高山市小・中学校教育の方針と重点》

願い:郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する
方針:郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための
資質・能力を育む

重点:挑戦し続けるたくましさの育成

- ワクワクするカリキュラム・マネジメント
～まず挑戦 すぐに修正・改善～
- ・なりたい自分の実現
- ・深い学びの実感 **個と向き合う**
- ・安心できる居場所
- 部活動+地域移行～地域との協働～
- 郷土教育～地域社会への発信～
- 生き生きと働ける学校づくり
～事務の共同実施～

学びづくり:知的好奇心や意欲をもち、対話しながら学び続けられる学習を生み出す

- 生徒も教師も「楽しい授業」を創造する
 - ・導入のドラマ・生徒同士の対話を重視
 - ・教師の発問が少ない授業(コーディネーター役へ)
- 学ぶ意義・学ぶ本質を伝える
 - ・教科の本質に立った授業のおもしろさを伝える
- 生活とつなぐ、地域の教育力とつなぐ
 - ・キャリア学習・作業学習・SDGSなど
- 授業づくり委員会や図書委員会と連携する
 - ・授業目標の設定・縦割り授業交流・図書利用
- 学習の定着を図る
 - ・タイムリーな単元テストの実施
 - ・みがきタイムの工夫
 - ・寺子屋学習・宿題と自主学習の明確化

東山中学校のミッション **地域と共にある学校**
～キャリア教育を生かしながら～(加配)

地域と共にある学校

- 「持続可能社会の実現」に向けた学び
- 5つのまちづくり協議会との連携(つながりの会)
 - ・郷土の良さや課題を知る・持続可能な郷土であるために
 - ・専門家から学ぶ「持続可能社会」SDGS
 - ・「郷土の未来を語る会」を核とした「郷土教育」の推進
～地域の良さ・課題を明確にし、その解決・発展の道をさぐる～
地域の未来を担う一人として地域の現状を把握し、**良さ・課題**
**を見つけ出し、持続可能な郷土のために考え、伝え、
地域と共に力を合わせ行動する。**
持続可能な社会・地域づくりに貢献できる人材を育てていく。
⇒語った内容から「行動」へとつなげる
⇒市長さんと語る会
⇒生徒会によるSDGsの取組

育てたい資質・能力

主体的に「考え、伝え、行動する」

心づくり:生徒の困り感に寄り添い、具体的な支援を生み出す

- 不登校傾向の生徒を生み出さない対策の強化
- レジリエンスを育む指導
- マインドフルネスの活動推進
(ぎふ命の教育の推進)
 - ・発達障害に関する更なる理解、生徒の心の安定につながる活動
 - ・計画的なSST、講話、SOSの出し方教育の推進
- 日常生活で大切にすることのPTAとの連携
 - *食事・睡眠・運動
- 特別支援学級生徒の安定
支援となる楽しき手立てを生む
 - ・その子の特性をつかみ「良い状況を認め、自己肯定感を高め、安定を生む」

仲間づくり:自己肯定感と達成感を生み出す

- 行事や日常生活を通し、生徒が主体的になり楽しめる活動を仕組む
- 仲間関係づくりの強化(「個」と「集団」のねらいを明確にした指導)
- 「なりたい自分」のPDCA(節ごとの見直し)
- グッジョブカードの推進
- 生徒主体の学年目標決め
- 「Think Globally Act Locally」の発想を生かしたSDGsなどの創造的な生徒会活動
- 執行部、文化広報委員会との連携

生活づくり:規律とゆとりのバランスある生活を生み出す

- 自分たちの健康や安全を自分たちで見直し、創り出す。
(掃除サミット、命を守る訓練、薬物乱用防止、感染予防等)
- 日常活動の徹底により、生活リズムを整える。
(食事・睡眠・時間・運動)
- 環境・給食・健康委員会との連携

誰ひとりとして寂しい思いをしない学校

「一生懸命がカッコイイ!」を実現